

## 給食経営管理に関する研究を実施するにあたっての倫理原則

日本給食経営管理学会は、健康増進を目的とする給食に関わる学問領域、理論および技術を給食経営管理として体系化し、学際的、実践的研究を促進、知識の交換、情報の提供を行うことにより、給食経営の進歩を図り、もって国民の健康増進に寄与することを目的としている。

給食経営管理に関する基礎的・実践的研究の遂行にあたり、研究対象者に対する倫理的配慮は本質的 중요さを帯びるものであり、今後研究を円滑に行い、更に発展させるためにも不可欠である。

日本給食経営管理学会は、以上に基づきその倫理原則を定め、学会員にその精神を尊重することを求める。

1. 給食経営管理に関する研究（以下「研究」という）は、人々の福利につながるべきであり、人を害するものであってはならない。
2. 研究は、インフォームド・コンセント、個人情報保護等の倫理的配慮を常に払う必要がある。
3. 研究は、利益相反（COI）に関する規範、社会規範、特に法規に反してはならない。
4. 研究は、その遂行の各段階において、公平性および高い透明性を維持する必要がある。

付則 本原則は必要に応じて見直すものとする。

- 2 本原則は令和4年（2022年）3月16日から施行する。